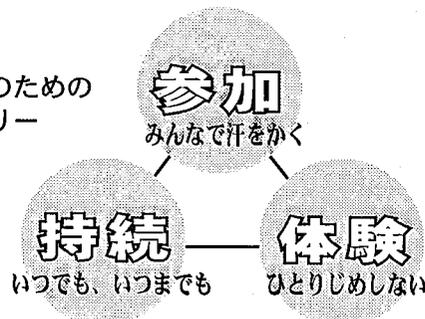


# 1. もったいないと思いませんか？

**独り占めしない**

行政イベント展開のための  
3つのストーリー



公共の施設や空間は、河川敷や  
棧橋、ダム、堰、橋梁、トンネル、  
共同溝など日常の生活空間  
と異なったスケール、触感を有  
するものが多い。市民は、そこ  
で新鮮な体験をしたい。

**市民へのアウトソーシング**

- モニタリング
- アンケート
- インタビュー
- .....

外部化した仕組みを  
地域に残すチャンス  
学習素材やボランタ  
リーの機会を提供で  
きる

個々のNPOは自立しているが

**森林ボランティア・グループの例**

## 2. 民々のコミュニケーション

個々のNPOにも、自らを説明  
する義務・必要性がある

- 「公益性」の説明
- 活動の効率化

インターメディアリ（中  
間支援機構、仲介者）な  
組織を支援することには  
意義がある

沿線、流域などの市民活動  
団体も意外と孤立している

**オープンカフェの運動**

資料参照

## 3. 公共空間の市民による活用

管理に関する情報を  
市民はもっていない

だから使わない

公共空間は行政のもの  
だという意識が強い